



亀中だより

No.22 令和5年9月1日 文責 岡田



For The Students!



8月7日・8日、4年ぶりに再開した岡山県高梁市立高梁中学校との姉妹校交流会として、17名の生徒が参加して、高梁市を訪問してきました。距離にして324km…。長旅でありましたが、二日間の交流会を通して、両校の絆を確認するとともに、心の距離はグーンと近づいた交流会でした。それもこれも小野高梁中校長をはじめとする高梁中学校の生徒のみなさん、先生方の「おもてなし」のおかげだったと感じています。また、開会行事では、近藤隆則高梁市長、小田高梁市教育委員会教育長にもご臨席をいただき、高梁市、高梁市教育委員会のみなさんが、市をあげて迎えていただいたことにも感激いたしました。生徒のみなさんには、また生徒集会等での報告があると思います。お楽しみに！



「マスク、個人の判断とは？」 三中交流会より

8月3日、関中学校を会場に三中交流会が開かれました。三中交流会は、市内の三中学校の代表が人権をテーマに話し合う会で、毎年取り組まれています。今年はコロナが5類に移行するとともに個人の判断となったマスクの着用について、様々な考え方があることについて、話し合いました。マスクをめぐる偏見や差別が生まれてしまうこともあり得ます。そうしたことに立ち止まって考えるととても良い機会となりました。

「納涼大会を彩る竹あかり」



8月11日、4年ぶりに開催された「亀山市納涼大会」は「あたたかな灯（あかり）と人々の輪」がテーマでした。本校2年生が制作した竹灯籠が、「カナエリア」川渕さん、森さんの作品とともに会場を彩りました。同大会には市内外から約1万5千人が来場されたそうです。

コロナ5類化以降の新たな時代の幕開けを肌で感じる事ができた一日でした。



きめ細やかな支援のための進路(進学)相談会

8月5日、「フリースペースかめっこ」を運営する「亀っ子サポート」(稲葉栄一理事長)が中心となって、不登校傾向等によって進学への不安のある中学生とその保護者を対象に、「きめ細やかな支援のための進路(進学)説明会」が開催されました。

中学生と保護者ら約80人が参加。通信制や定時制課程などを含めて、県内の私立、公立高校計12校も参加していただきました。



不登校等で進学に不安がある生徒、保護者は少なくありません。その理由は、進学後の学習や学校生活のあり方、進学先での支援体制などにあるでしょう。今回参加していただいた高校は、それぞれの特色の中でまさに「きめ細やかな」支援が展開されています。学び方、学ぶ時期、学ぶ内容は多様化しており、たくさんの可能性があります。3中学校においても、この相談会でたくさんの学びがありました。残念ながら今回は参加できなかったという家庭もあると思います。3年生のみならず、ご質問やご相談は、何なりと学校までお申し付けください。知らなかった可能性が見えてくることになるはずです。

昨年より、この会の開催にご尽力いただきました特定非営利法人亀っ子サポート、並びに不登校の親の会「でんでん」のみなさま、ありがとうございました。

三重県建設労働組合亀山支部さんより



第1棟職員室前の廊下に、三重県建設労働組合亀山支部さんの奉仕作業として生徒教材用のストック棚を製作していただきました。以前から保管場所、方法に苦慮していたのですが、スッキリと整理することができるようになりました。大切にに使わせていただきます。

ありがとうございました！